



護
国
神
社



青
山
稲
荷



白
山
神
社

目 次

- 会長挨拶 — 新年のごあいさつ —
- 第32回建築士事務所全国大会報告
- 建築士事務所キャンペーン報告
- 罫口（にじりぐち）
- お知らせ
 - ・会長の動向・事務局ダイアリー
 - ・新入会員のご紹介
- あとがき



社団法人 新潟県建築設計事務所協会

〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目614番地 白山ビル6F
TEL (025) 265-4748 FAX (025) 231-6553
URL <http://www.niaaf.or.jp/>
E-mail kjk15@niaaf.or.jp

新年のごあいさつ

会 長 藤 田 松 夫

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には平穩に輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

年頭にあたり協会として取り組まなければならない課題について申し上げます。

一昨年の二度に渡る改正建築士法に続き昨年6月20日の建築基準法改正が建築界に建基法不況を巻き起こし社会問題化を生じた年ではなかったでしょうか。

このような状況の中で、先ず業務委託する建築主等広く国民に改正法の実効性を高めるため、十分な理解と協力が求められるようになりました。建築主への周知は協会だけでは限界があり、行政主導として共に周知徹底を図っていかなければなりません。

次に低価格入札問題であります。昨年は最低制限価格制度の導入を新潟県では受け入れてもらう

ことができましたが、県内市町村においても実現できるよう取り組みます。

次に協会加入率の向上です。最近は県でも関心が高く、法定化され倫理規程のある又行政指導をしていく上にも、17・18・19年の3年間で新規建築事務所の登録500事務所ありながら加入者が少ないことに、協会と県とで新規登録者の講習会も含めたオリエンテーションを行います。

さらに、日事連と共に建築士事務所の適正な業務報酬基準の見直しを強く押し進めていきます。

設計業務環境、技術の向上に伴い、標準外業務が多くなっている中で、今後時代の変化に対応して継続的、定期的に見直しが行われるよう強く要望していきます。

最後に会員各位のご発展を祈念するとともに本年も引き続き協会運営にご協力賜りますようお願い申し上げます。

第32回建築士事務所全国大会報告

今年度は10月5日、大分市で開催。当協会からは9人の参加。

大会式典での、日事連会長の挨拶は法改正による建築界の大混乱、このままだと日本経済にも支障をきたす。と今の現状とその改善を切実とそして毅然と訴えた。それに対する国交省冬



柴大臣代理の挨拶の中で
の回答は、相談窓口開設、
ホームページによる情報
提供等で対処したい。とまるで気楽なもの。こんなときの頼みの綱、日事連政研議員挨拶では、ほとんど事の本質を理解していない的外れな言葉にはもっとまじめにやれ。と絶望感すら覚えた。



(総務委員長 天木与一)

建築士事務所キャンペーン報告

今年の建築士事務所キャンペーンは『Let's 2007 住マイルライフ』(TeNY主催)に併せて、会員皆様の作品展示紹介をし、建築家とのふれあい、無料設計相談と多くの方々に協会をPRしようと新潟市産業振興センターにて、8月25、26日の2日間に亘り行いました。



他イベントとの共催により集客は5,000名(2日間)を超える中での協会事務所キャンペーンであった為、多くの方に私達のブースへ足を運んで頂きました。無料設計相談も設計事務所選びからリフォーム、構造相談等多岐に亘り展示作品を熱心に見ておられました。チラシの配布部数も1,700枚を超え有意義な2日間でした。

(下越支部長 坂本忠志)



躡口 (にじりぐち)

下越支部

「地震」

(株)タツミ 目黒 二三夫



2004年の中越大震災、そして中越沖地震と立て続けに新潟県を襲った大地震。

こんな恐ろしい事がいとも簡単に突然私たちの身に降りかかって来、一瞬にして平和な生活をどん底に突き落としてしまいます。私が勤務する株式会社タツミも、中越大震災ではかなり大きな被害のでた見附市に位置します。当然地震の怖さを改めて認識した一人です。こんな地震大国日本で株式会社タツミが取り組んでいる、木造住宅構造部分の耐震、制震の部材、そして工法が地震の被害を最小限に抑え、大きくは人の命を守る事が出来るのです。そういう仕事に携われる事を幸せに思いますし、大げさに言えば生き甲斐にさえ感じて日々仕事に精進しております。当社のキャッチフレーズである『地震に自信あり』、そして『住宅を科学するタツミ』、これからも皆様のお役に立てるべく努力してまいります。

中越支部

「ガラス屋のルーツはランプ屋？」

(株)小林硝子 小林 武司



ガラス屋をやって60年。祖父の代より3代目。戦後間もなく、私が幼い頃、店の前にランプが陳列されていたような記憶があります。

ある時、「なぜランプがいっぱい家にあるの？」と父に聞いたところ、「中身は同じガラスだからだよ。」とのこと。当時は『硝子屋＝ランプ屋』“生活のあかり”としてランプが商売になっていた様ですが、電気が普及されてゆくにつれ、いつの間にか店頭からランプが消えてしまいました。

その後、他の『ランプ屋＝ガラス屋』は油を扱う石油関連業界（ガソリンスタンドなど）へ、または、建物に硝子をはめ込む建設業界へ分かれていったようですが……（本当かな？）

どっちの選択が良かったのかは、今のところ解りません。ハイ！

上越支部

「人にやさしい環境づくり」

(株)城南商会 山崎 秋男



上越地区で土木建築資材の販売と石油製品販売を行っている(株)城南商会の山崎秋男です。主たる営業品目はパイル、コンクリート二次製品で、その他景観製品ということで石張り、レンガ等を扱い、直江津駅前、高田駅前、高田公園等の整備等に関わることが出来ましたが、こうした仕事は目に見えた達成感があり嬉しいものです。「人にやさしい環境づくり」をキャッチフレーズに、人々が心豊かに感じられるような地域づくりにこれからも関わればと思っておりますので、よろしくお願いします。

賛助会員コラム欄の愛称：躡口(にじりぐち)とは…

「えちご一会」は「一期一会」をもじったものです。茶道の言葉なのでコラム欄も茶道関係がよからうと茶室への誘い→「えちご一会」への誘いと考へ【躡口】といたしました。

正・賛助会員の皆様のフリーコーナーです。なんでも奮ってご投稿をお願い致します。

お知らせ

●会長の動向●

8月27日(月)	緊急拡大全国会長会議
9月12日(水)	第110回関プロ協議会
9月26日(水)	改正建築基準法関係の説明会
10月10日(水)	建築住宅課との情報交換会
10月18日(木)	団体・業界との市政運営に関する意見交換会
10月22日(月)	新潟市建築行政課との打合せ
10月22日(月)	中越沖地震の義援金贈呈
10月22日(月)	県建築営繕課との情報交換会
11月6日(火)	「中越沖地震 被災地の復旧・復興活動」感謝状贈呈式
11月8日(木)	新潟県福祉のまちづくり施策推進会議
11月26日(月)	改正建築基準法関係の説明会
11月27日(火)	日事連全国会長会議
12月3日(月)	第111回関プロ協議会
12月20日(木)	建築構造技術連絡協議会設立準備委員会

●事務局ダイアリー●

8月8日(水)	指導小委員会
8月28日(火)	組織拡充委員会

9月26日(水)	日事連教育情報委員会
9月26日(水)	指導委員・住宅アドバイザー委員合同会議
9月27日(木)	技術小委員会
10月1日(月)	執行部会議(支部長含)
10月6日(土)	星野伊佐夫県議会在職30年を祝う会
10月10日(水)	臨時士業連絡会議
10月11日(木)	第4回人材育成会議
10月12日(金)	第2回理事会
11月16日(金)	組織拡充委員会
11月16日(金)	関プロ協議会(耐震診断業務に関わる意見交換会)
11月17日(土)	震災総合相談
12月6日(木)	入札最低制限価格要望検討会
12月10日(月)	下越支部四団体合同会議
12月11日(火)	技術小委員会
12月22日(土)	吉田六左工門時局講演会
20年1月7日(月)	賀詞交歓会
1月11日(金)	下越支部四団体合同会議
1月18日(金)	執行部会議(委員長含)
1月22日(火)	指導委員・住宅アドバイザー委員合同会議
3月7日(金)	第3回理事会(予定)

●講習会の実施報告

10月3日(水)	県立生涯学習推進センター	「雪国の実情に応じた耐震改修工法」発表会	聴講者105名
11月7日(水)	朱鷺メッセ	「建築士事務所の開設者研修会・管理講習会」	受講者320名
11月21日(水)	ハイブ長岡	「建築士事務所の開設者研修会・管理講習会」	受講者296名
11月29日(木)	新潟ユニゾンプラザ	新潟市木造住宅耐震診断講習会	受講者194名
12月13日(木)	新潟ユニゾンプラザ	新潟市木造住宅耐震診断講習会(追加開催)	受講者187名
20年1月10日(木)	新潟県庁講堂	「2007年版建築物の構造関係技術基準解説書」講習会	受講者 75名

●新入会員のご紹介●

正 会 員

平成19年8月～12月までの入会員をお知らせ致します。

●中越支部

事務所名	開設者	住所	TEL	FAX
(株) 総合住宅システム	星 野 英 敏	〒940-0833 長岡市笹崎2-2-14	0258-31-1817	0258-31-1816

賛 助 会 員

●下越支部

事務所名	開設者	住所	TEL	FAX
福井コンピュータ(株)新潟出張所	野 路 義 弘	〒950-0914 新潟市中央区紫竹山2-4-43 渡辺ビルB棟3F	025-246-9255	025-246-9268

あとがき

新年あけましておめでとうございます。

今年は「子年」。「景気が良くなる年」として過去の記録に残っているようです。是非、良い年となってもらいたいものです。

今、社会はCO₂排出による地球温暖化防止をはじめとする地球環境保全に人類の存亡をかけ、あらゆる分野でこれに取り組んでいます。今年、サミット開催国である日本は、世界のリーダーシップをとり、これに対応してゆこうとしています。

建築設計を業としている我々は、建築分野で多いにリー

ダーシップを発揮しこれに対応してゆきたいものです。

本年も「えちご一会」宜しくお願い致します。

(「えちご一会」中村優晴)

えちご一会 2008. 冬 VOL.5

発行：平成20年1月

発行所：(株)新潟県建築設計事務所協会

会長 藤田 松夫

編集：組織拡充小委員会

中村優晴、志賀康治、池田登実男・高橋伸矢

表紙写真/本間英明さん(株)クラスター設計)撮影